学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語		科目名	論理国語										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 新論理国語（三省堂）
② 新論理国語　学習課題ノート（三省堂）
③ 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	7、具体と抽象の関係を理解するために 「人類による環境への影響」	11
		★中間考査	1
	6月～7月	9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「学びとは何か」	7
		１０、解釈を広げたり深めたりするために 「未来のありか」	6
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	8、批評するために 「日本マンガのブルーオーシャン」	12
		9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「文系と理系の壁はあるか」	9
		★中間考査	1
	10月～11月	7、具体と抽象の関係を理解するために 「この十年をどう生きるか」	8
		9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「「知る」ということ」	10
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	１０、解釈を広げたり深めたりするために 「科学には限界があるか」	7
		１０、解釈を広げたり深めたりするために 「リスク社会論」	8
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			83

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	論理国語										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：精選 論理国語（三省堂）
② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂）
③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）
④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書で学習した内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 副教材、授業の内容を中心に小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。	表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第二部 一．情報社会を生きるⅡ 「流言とメディア」 三．共生社会を創造する 「母親のための酸素マスク」 【中間考査】	 5 3 1
	6月～7月	第二部 三．共生社会を創造する 「講演　持続可能な福祉社会への道」 【期末考査】	 9 1
第2学期	8月～9月	第二部 四．経済について考える 「『欲望』と資本主義」 五．国際社会を考える 「スポーツとナショナリズム」 【中間考査】	 6 7 1
	10月～11月	第二部 六．心と向き合う 「恐怖とは何か」 七．「リスク社会」を生きる 「リスク社会論」 【期末考査】	 6 7 1
第3学期	12月～1月	第二部 八．近代・現代社会を考える 「コンクリートの時代」 【期末考査】	 8 1
	2月～3月		
総　時　間　数			56

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	論理国語										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：精選 論理国語（三省堂）
② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂）
③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）
④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書で学習した内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 副教材、授業の内容を中心に小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。	表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第二部 一．情報社会を生きるⅡ 「流言とメディア」 二．言葉を見つめるⅡ 「『対話』の言葉をつくる」 【中間考査】	 5 5 1
	6月～7月	第二部 三．共生社会を創造する 「講演　持続可能な福祉社会への道」 四．経済について考える 「『欲望』と資本主義」 【期末考査】	 7 6 1
第2学期	8月～9月	第二部 五．国際社会を考える 「スポーツとナショナリズム」 「南の貧困／北の貧困」 【中間考査】	 6 14 1
	10月～11月	第二部 六．心と向き合う 「恐怖とは何か」 七．「リスク社会」を生きる 「リスク社会論」 学びを広げる「『リスク社会』について考察する」 【期末考査】	 6 10 4 1
第3学期	12月～1月	第二部 八．近代・現代社会を考える 「コンクリートの時代」 「学問のすすめ」 【期末考査】	 6 8 1
	2月～3月		
総　時　間　数			82

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	論理国語										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：論理国語（数研出版）
② 問題集：論理国語　学習課題ノート（数研出版）
③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）
④ 問題集：大学入学共通テスト対策問題集（尚文出版）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	〔文化の認識〕 「いき」の美学	8
		【中間考査】	1
	6月～7月	〔社会の枠組み〕 人はなぜ働かなくてはならないのか	9
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	〔情報と知性〕 人工知能はなぜ椅子に座れないのか	6
		〔環境と人間〕 意志と選択	7
		【中間考査】	1
	10月～11月	大学入学共通テスト対策問題演習	13
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	大学入学共通テスト対応問題演習	9
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総時間数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	論理国語										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：論理国語（数研出版）
② 問題集：論理国語　学習課題ノート（数研出版）
③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）
④ 問題集：大学入学共通テスト対策問題集（尚文出版）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	〔文化の認識〕 「いき」の美学	10
		【中間考査】	1
	6月～7月	〔社会の枠組み〕 人はなぜ働かなくてはならないのか	6
		「である」ことと「する」こと	6
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	〔情報と知性〕 人工知能はなぜ椅子に座れないのか	9
		〔環境と人間〕 意志と選択	9
		【中間考査】	1
	10月～11月	大学入学共通テスト対策問題演習	21
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	大学入学共通テスト対策問題演習	14
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総時間数			80

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語		科目名	文学国語										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 文学国語（大修館書店）
② 文学国語学習ノート（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	「桜の中で、時が重なり合う」平野啓一郎	5
		★中間考査	1
	6月～7月	「鍋セット」角田光代	8
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	「桔梗君へ」川上未映子	13
		「檸檬」梶井基次郎	
		★中間考査	1
	10月～11月	「檸檬」梶井基次郎	13
		「待つ」太宰治	
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	「冥途」内田百閒	9
	2月～3月	★期末考査	1
総　時　間　数			53

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	文学探究										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：文学国語（大修館：文国７０４）
② 問題集：文学国語　学習ノート（文国　704準拠）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力をつける。
②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。
③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。
④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。	考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問いに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。	自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝わる適切な表現で述べたり、表現することができている。	探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができていない。
	文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で他者によく伝わるよう的確に表現することができている。	文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等である程度伝わるように表現することができている。		文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で表現することがあまりできていない。
主体性・態度	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	1　随筆・評論（一） 桜の中で、時が重なり合う　　平野啓一郎	7
		★中間考査	1
	6月～7月	3　小説（二） 赤い繭　　安部公房	9
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	4　随筆・評論（二） 陰翳礼讃　　谷崎潤一郎	14
		★中間考査	1
	10月～11月	6　小説（四） 舞姫　　森　鷗外	15
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	7　小説（五） 冥途　　内田　百閒	10
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			60

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	文学国語										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 文学国語（数研出版）
② 文学国語　準拠ワーク（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第二章 平成の小説 「ひよこの眼」山田詠美	7
		★中間考査	1
	6月～7月	昭和中期の小説 「赤い繭」安部公房	9
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	大正の小説 「檸檬」梶井基次郎 大正の小説 「件」内田百閒	13
		★中間考査	1
	10月～11月	海外の小説 「掟の門前」フランツ・カフカ	15
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	海外の小説 「藤野先生」魯迅	9
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			58

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	古典探究										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：新編古典探究（東京書籍）
② 問題集：新編古典探究 学習課題ノート（東京書籍）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、自分の言葉で表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現したりすることができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができず、自分の考えを持ったり自分の言葉で表現したりする様子がほとんど感じられな
	文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		文章の読み取りほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習するなど、粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容を考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	古文編Ⅱ部 ２.歌物語を楽しむ 『伊勢物語―初冠―』	5
		【中間考査】	1
	6月～7月	古文編Ⅱ部 ２.歌物語を楽しむ 『大和物語―姨捨―』	4
		漢文編Ⅱ部 １.小話を読む 『小話三編―宋襄之仁―』	3
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	古文編Ⅱ部 ３.歴史物語を読む 『大鏡―道真の左遷―』	7
		漢文編Ⅱ部 ３.史記を味わう 『廉頗と藺相如―刎頸之交―』	7
		【中間考査】	1
	10月～11月	漢文編Ⅱ部 ３.史記を味わう 『廉頗と藺相如―刎頸之交―』	5
		古文編Ⅱ部 ４.歌話・歌論を読む 『無名抄―出で映えすべき歌のこと』	8
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	古文編Ⅱ部 ５.作り物語を味わう 『源氏物語―光源氏の誕生―』	10
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総　時　間　数			54

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	古典探究										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：精選古典探究（大修館書店）　②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店）
③ 参考書：大学入試新古文単語３３６（文英堂）　④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）
⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版）　⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典単語についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。	表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容を考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	古文編 第Ⅱ部 ４.日記 『紫式部日記』「和泉式部と清少納言」 〈読み比べ〉 『無名草子』「紫式部のこと」	11
		【中間考査】	1
	6月～7月	漢文編 第Ⅱ部 １.故事・逸話 「水魚の交はり」	12
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	古文編 第Ⅱ部 ３.物語(二) 『源氏物語』「葵の上と物の怪」	19
		【中間考査】	1
	10月～11月	漢文編 第Ⅱ部 ３.史伝―『史記』列伝（司馬遷） 「刎頸の交はり」 古文編 第Ⅱ部 ３.物語(一) 『大鏡』「肝だめし」	18
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	古文編 第Ⅱ部 ３.物語(三) 『雨月物語』「浅茅が宿」	13
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総　時　間　数			78

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	古典探究										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：精選古典探究（大修館書店）　②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店）
③ 参考書：大学入試新古文単語３３６（文英堂）　④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）
⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版）　⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典単語についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。	表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容を考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	古文編 第Ⅱ部 ４.日記 『紫式部日記』「和泉式部と清少納言」 〈読み比べ〉 『無名草子』「紫式部のこと」	8
		【中間考査】	1
	6月～7月	漢文編 第Ⅱ部 １.故事・逸話 「水魚の交はり」	9
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	古文編 第Ⅱ部 ３.物語(二) 『源氏物語』「葵の上と物の怪」	13
		【中間考査】	1
	10月～11月	漢文編 第Ⅱ部 ３.史伝―『史記』列伝（司馬遷） 「刎頸の交はり」	13
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	古文編 第Ⅱ部 ３.物語(一) 『大鏡』「肝だめし」	8
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総　時　間　数			56

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	古典探究										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：高等学校　古典探究（数研出版：古探/711）
② 問題集：高等学校　古典探究　準拠ワーク（数研出版）
③ 参考書：大学入試新古文単語３３６（文英堂）　④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）
⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版）　⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）

①古文・漢文の読解を通して、文章の内容をとらえたり、文章を評価したり、自分の考えを深めたりできるようにする。
②重要単語や句形、文法等の古典一般常識を身に着け、日本の伝統文化である古典作品を自分で読解できるようにする。
③古典を鑑賞することによって、伝統的なものの見方・考え方に触れ、日本文化についての素養を身に

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語等についての１０分間小　　テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも意欲的に取り組み、初見の古典を読解する能力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	随筆集 二月つごもり（枕草子）	5
		故事 知音（呂紙春秋）	5
		★中間考査	1
	6月～7月	歴史物語 花山天皇の出家（大鏡）	7
		小説 酒虫（聊齊志異）	6
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	物語 車争い（源氏物語）	5
		紫の上の死（源氏物語）	5
		史伝 伯夷・叔斉（史記）	9
		★中間考査	1
	10月～11月	近世随筆 花〈花月草紙）	10
		共通テスト対策　問題演習	10
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	共通テスト対策　問題演習	15
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			82

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史		科目名	世界史探究										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高校世界史（山川出版社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に着けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時代の推移・比較・相互の関連性や現代世界とのつながりに着目し、歴史の課題を解決する視野を入れて構想する力、考察力を基に議論する力を養う。	世界の枠組みと展開に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的な考察や我が国に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が７９～５５点である。	定期考査と小テストの合計得点が５４～３０点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	5
		第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開	5
		中間考査	1
	6月～7月	第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国	5
		第９章　大交易・大交流の時代	5
		第１０章　アジアの諸帝国の繁栄	2
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	第１１章　近世ヨーロッパ世界の動向	5
		第１２章　産業革命と環大西洋革命	5
		第１３章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	5
		第１４章　アジア諸地域の動揺	3
		中間考査	5 1
	10月～11月	第１５章　帝国主義とアジアの民族運動	9
		第１６章　第一次世界大戦と世界の変容	9
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	第１７章　第二次世界大戦と新しい国家秩序の形成	6
		第１８章　冷戦と第三世界の台頭	6
		第１９章　冷戦の終結と今日の世界	5
		期末考査	1
	2月～3月		1
総　時　間　数			86

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	世界史探究										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 世界史探究　詳説世界史（山川出版社）
② NEW・STAGE 世界史詳覧　（浜島書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。	提出課題・ノート検査で判断する。	授業への意欲と受講態度を評価。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が７９～５５点である。	定期考査と小テストの合計得点が５４～３０点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第9章　大交易・大交流の時代	1
		第10章　アジアの諸帝国の繁栄	12
		第11章　近世ヨーロッパ世界の動向	
		中間考査	1
	6月～7月	第11章　近世ヨーロッパ世界の動向（２～）	8
		第12章　産業革命と環大西洋革命	9
		第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成（３～）	9
		第14章　アジア諸地域の動揺	
		第14章　アジア諸地域の動揺（３～）	17
		第15章　帝国主義とアジアの民族運動	
		第16章　第一次大戦と世界の変容	
		中間考査	1
	10月～11月	第16章　第一次大戦と世界の変容（３～）	26
		第17章　第二次大戦と新しい国家秩序の形成	
		第18章　冷戦と第三世界の台頭	
		第17章　冷戦の終結と今日の世界	
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	第17章　冷戦の終結と今日の世界	21
		まとめと演習	
	2月～3月	期末考査	1
総　時　間　数			108

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	世界史探究										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 世界史探究　詳説世界史（山川出版社）
② NEW・STAGE 世界史詳覧　（浜島書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。	提出課題・ノート検査で判断する。	授業への意欲と受講態度を評価。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が７９～５５点である。	定期考査と小テストの合計得点が５４～３０点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第9章　大交易・大交流の時代	1
		第10章　アジアの諸帝国の繁栄	12
		第11章　近世ヨーロッパ世界の動向	
		中間考査	1
	6月～7月	第11章　近世ヨーロッパ世界の動向（２～）	8
		第12章　産業革命と環大西洋革命	9
		第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成（３～）	9
		第14章　アジア諸地域の動揺	
		第14章　アジア諸地域の動揺（３～）	17
		第15章　帝国主義とアジアの民族運動	
		第16章　第一次大戦と世界の変容	
		中間考査	1
	10月～11月	第16章　第一次大戦と世界の変容（３～）	26
		第17章　第二次大戦と新しい国家秩序の形成	
		第18章　冷戦と第三世界の台頭	
		第17章　冷戦の終結と今日の世界	
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	第17章　冷戦の終結と今日の世界	21
		まとめと演習	
	2月～3月	期末考査	1
総　時　間　数			108

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	日本史探究										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 日本史探究　高校日本史　（山川出版社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	第９章　幕藩体制の成立と展開	
		１.江戸幕府の成立	4
		２．江戸初期の外交と文化	4
		◎中間考査	1
	6月～7月	３．幕政の安定	5
		４.経済の発展	5
		５．元禄文化	5
		◎期末考査	1
第２学期	8月～9月	第１０章　幕藩体制の動揺	
		１．幕政の改革と宝暦・天明期の文化	7
		２．江戸幕府の衰退	7
		３.化政文化	7
		◎中間考査	1
	10月～11月	第１１章　近世から近代へ	
		１.開国とその影響	5
		２．幕府の滅亡と新政府の発足	5
		第１２章　近代国家の成立	
		１．明治維新	4
		２.立憲国家の成立	3
		◎期末考査	1
第３学期	12月～1月	第１３章　近代国家の展開と国際関係	
		１．大陸政策の展開	4
		２．第１次世界大戦と日本	4
		３.ワシントン体制	4
		◎期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			78

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	日本史探究											
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●		●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：『詳説　日本史』（山川出版社705）
② 副教材：『詳説　日本史　整理ノート』（山川出版社）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第Ⅳ部　第１２章　１　明治維新と富国強兵	3
		２　立憲国家の成立	3
		第Ⅳ部　第１３章　１　日清・日露戦争と国際関係	3
		２　第一次世界大戦と日本	4
		★中間考査	1
	6月～7月	第Ⅳ部　第１３章　３　ワシントン体制	2
		第Ⅳ部　第１４章　１　近代産業の発展	3
		２　近代文化の発達	3
		３　市民生活の変容と大衆文化	3
		第Ⅳ部　第１５章　１　恐慌の時代	3
		２　軍部の台頭　　３　第二次世界大戦	3
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第Ⅳ部　第１６章　１　占領と改革	5
		２　冷戦の開始と講和	5
		第Ⅳ部　第１７章　１　５５年体制	5
		２　経済復興から高度経済成長へ	5
		第Ⅳ部　第１８章　１　経済大国への道	3
		２　冷戦の終結と日本社会の変容	3
		★中間考査	1
	10月～11月	テーマ史　１　外交史　２　産業史　３　経済史	4
		４　文化史　５　宗教史　６　思想史	4
		７　教育史　８　土地制度史　９　女性史	4
		通史（問題演習）　１　原始・古代	5
		２　中世	9
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	通史（問題演習）　３　中世（室町）	5
		４　近世	7
		５　近現代	9
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			108

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	倫理											
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：倫理（数研出版：倫理７０４）
② 問題集：倫理整理ノート（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	先哲の思想を多角的に活用し、自己の生き方や現代の諸課題について論理的に考察し、根拠を持って自分の考えを表現している。	学習した思想や概念に基づき、自己の生き方や諸課題について複数の視点から考察し、自分の考えを適切に表現している。		先哲の思想と課題の結びつきが不十分であり、客観的な根拠や視点が欠けた主観のみの表現にとどまっている。
	先哲の思想を比較・引用し、自己の在り方や現代的課題に結びつけ、客観的根拠に基づき論理的な解決策や意見を構成できている。	学習した先哲の思想を適切に引用し、複数の視点から自己の生き方や現代の課題を考察し、基本的な根拠を基に表現できている。		先哲の思想と課題の結びつきが弱く、主観や感情的な感想にとどまり、客観的根拠や論理的な多角性が不足している。
主体性・態度	人間としての在り方に関心を持ち、他者との対話や自己省察を通じて、自らの価値観を客観的に見直し、高めようとしている。	倫理的な課題に意欲的に取り組み、対話や学習内容を振り返ることで、自己の生き方について考えを深めようとしている。		先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。
	他者の意見や先哲の思想を鏡として自己を客観的に省察し、既存の価値観を粘り強く更新し、よりよい社会の実現を模索している。	倫理的課題に意欲的に取り組み、授業での対話や学びを振り返ることで、自己の生き方や社会への関わり方を真面目に考えている。		課題を他人事と捉えて表面的な理解にとどまり、自分の考えを問い直したり、対話を通じて学びを深めようとする姿勢が乏しい。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第４章第１節①日本の風土と社会	1
		②日本神話の世界観	2
		③神話と倫理	2
		第２節①外来思想の土着化	2
		★中間考査	1
	６月～７月	②仏教の受容	2
		③仏教の展開	2
		第３節①儒学の需要と展開	2
		②国学の誕生	1
		③庶民の思想	1
		④幕末の思想	1
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第４節①啓蒙思想と民権論　②国民道徳とキリスト教	3
		③近代的自我の模索　④近代日本における哲学の誕生	3
		⑤大正デモクラシーの思想　⑥昭和初期の思想と超国家主義	2
		⑦国際社会を生きる日本人	1
		第２編　第１節生命をめぐる諸課題　第２節自然をめぐる諸課題	3
		★中間考査	1
	10月～11月	第３節科学技術をめぐる諸課題　第４節福祉をめぐる諸課題	3
		第５節文化と宗教をめぐる諸課題　第６節平和をめぐる諸課題	3
		問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	9
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	8
	２月～３月	★期末考査	1
総　時　間　数			56

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	倫理										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：倫理（数研出版：倫理７０４）
② 問題集：倫理整理ノート（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	先哲の思想を多角的に活用し、自己の生き方や現代の諸課題について論理的に考察し、根拠を持って自分の考えを表現している。	学習した思想や概念に基づき、自己の生き方や諸課題について複数の視点から考察し、自分の考えを適切に表現している。		先哲の思想と課題の結びつきが不十分であり、客観的な根拠や視点が欠けた主観のみの表現にとどまっている。
	先哲の思想を比較・引用し、自己の在り方や現代的課題に結びつけ、客観的根拠に基づき論理的な解決策や意見を構成できている。	学習した先哲の思想を適切に引用し、複数の視点から自己の生き方や現代の課題を考察し、基本的な根拠を基に表現できている。		先哲の思想と課題の結びつきが弱く、主観や感情的な感想にとどまり、客観的根拠や論理的な多角性が不足している。
主体性・態度	人間としての在り方に関心を持ち、他者との対話や自己省察を通じて、自らの価値観を客観的に見直し、高めようとしている。	倫理的な課題に意欲的に取り組み、対話や学習内容を振り返ることで、自己の生き方について考えを深めようとしている。		先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。
	他者の意見や先哲の思想を鏡として自己を客観的に省察し、既存の価値観を粘り強く更新し、よりよい社会の実現を模索している。	倫理的課題に意欲的に取り組み、授業での対話や学びを振り返ることで、自己の生き方や社会への関わり方を真面目に考えている。		課題を他人事と捉えて表面的な理解にとどまり、自分の考えを問い直したり、対話を通じて学びを深めようとする姿勢が乏しい。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	第４章第１節①日本の風土と社会	2
		②日本神話の世界観	2
		③神話と倫理	2
		第２節①外来思想の土着化	2
		★中間考査	1
	6月～7月	②仏教の受容 ③仏教の展開	3
		第３節①儒学の需要と展開	2
		②国学の誕生	1
		③庶民の思想	1
		④幕末の思想	1
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	第４節①啓蒙思想と民権論　②国民道徳とキリスト教	3
		③近代的自我の模索　④近代日本における哲学の誕生	2
		⑤大正デモクラシーの思想　⑥昭和初期の思想と超国家主義	2
		⑦国際社会を生きる日本人	1
		第２編　第１節生命をめぐる諸課題　第２節自然をめぐる諸課題	3
		第3節科学技術をめぐる諸課題　第4節福祉をめぐる諸課題	3
		★中間考査	1
	10月～11月	第５節文化と宗教をめぐる諸課題　第６節平和をめぐる諸課題	3
		問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	10
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	10
	2月～3月	★期末考査	1
総　時　間　数			58

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	政治経済										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：『高等学校　政治・経済』（第一学習社706）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１編　第１章　第３節②経済主体と経済循環	
		③国民経済の大きさと経済成長	1
		④物価と景気変動	2
		⑤市場の失敗と公害・消費者問題	2
		★中間考査	1
	6月～7月	第４節　持続可能な財政および租税のあり方	
		①財政のしくみと租税の意義	4
		第５節　金融を通した経済活動の活性化	
		①金融のしくみとはたらき	4
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第６節　経済活動と社会福祉の向上	
		①日本経済の変化と中小企業・農業問題	4
		②労使関係と労働問題	4
		③社会保障制度と福祉のあり方	5
		★中間考査	1
	10月～11月	第２編　第1章　第１節　国際法の果たす役割	
		①国際社会の変遷	4
		②国際法の意義	4
		③国際機構の役割	5
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	第４節　国際経済において求められる日本の役割	
		①国際経済における日本の地位と国際協力	9
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			50

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	政治・経済										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高等学校　政治・経済　（第一学習社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１編　第１章　第１節①政治と法の意義と機能	
		②法の支配と立憲主義	1
		③基本的人権の保障と日本国憲法	1
		④現代社会における新しい人権	1
		⑤権利と義務との関係	1
		⑥議会制民主主義と世界の政治体制	1
		★中間考査	1
	６月～７月	第１編　第１章　第１節⑦国会の組織と立法	
		⑧内閣の機構と行政	2
		⑨裁判所の機能と司法制度	2
		第１編　第１章　第２節①地方自治制度と住民の権利	
		②政党政治と選挙	1
		第１編　第１章　第３節①経済活動と市場	
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第１編　第１章　第３節②経済主体と経済循環	
		③国民経済の大きさと経済成長	2
		④物価と景気変動	2
		⑤市場の失敗と公害・消費者問題	2
		第１編　第１章　第４節①財政のしくみと租税の意義	2
		第１編　第１章　第５節①金融のしくみとはたらき	3
		★中間考査	1
	10月～11月	第１編　第１章　第６節①中小企業・農業問題	
		②労使関係と労働問題	3
		③社会保障制度と福祉のあり方	4
		第２編　第１章　第１節①国際社会の変遷	
		②国際法の意義	3
		③国際機構の役割　④国際紛争と軍縮への取り組み	4
		★期末考査	1
第３学期	12月～１月	第２編　第１章　第２節①日本の安全保障と国際貢献	
		第２編　第１章　第３節①貿易の現状と意義	
		②国民経済と国際収支	3
		③為替相場の変動	3
		④国際協調と国際経済機関の役割	3
		第２編　第１章　第４節①日本の国際協力	
		★期末考査	1
	２月～３月		
総　時　間　数			49

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	政治・経済										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高等学校　政治・経済　（第一学習社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１編　第１章　第１節①政治と法の意義と機能	
		②法の支配と立憲主義	1
		③基本的人権の保障と日本国憲法	1
		④現代社会における新しい人権	1
		⑤権利と義務との関係	1
		⑥議会制民主主義と世界の政治体制	1
		★中間考査	1
	６月～７月	第１編　第１章　第１節⑦国会の組織と立法	
		⑧内閣の機構と行政	2
		⑨裁判所の機能と司法制度	2
		第１編　第１章　第２節①地方自治制度と住民の権利	
		②政党政治と選挙	1
		第１編　第１章　第３節①経済活動と市場	
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第１編　第１章　第３節②経済主体と経済循環	
		③国民経済の大きさと経済成長	2
		④物価と景気変動	2
		⑤市場の失敗と公害・消費者問題	2
		第１編　第１章　第４節①財政のしくみと租税の意義	2
		第１編　第１章　第５節①金融のしくみとはたらき	3
		★中間考査	1
	10月～11月	第１編　第１章　第６節①中小企業・農業問題	
		②労使関係と労働問題	3
		③社会保障制度と福祉のあり方	4
		第２編　第１章　第１節①国際社会の変遷	
		②国際法の意義	3
		③国際機構の役割　④国際紛争と軍縮への取り組み	4
		★期末考査	1
第３学期	12月～１月	第２編　第１章　第２節①日本の安全保障と国際貢献	
		第２編　第１章　第３節①貿易の現状と意義	
		②国民経済と国際収支	3
		③為替相場の変動	3
		④国際協調と国際経済機関の役割	3
		第２編　第１章　第４節①日本の国際協力	
		★期末考査	1
	２月～３月		
総　時　間　数			49

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民		科目名	政治・経済										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高等学校　政治・経済　（第一学習社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第3節　相互依存関係が深まる国際経済の特質	3
		国際協調と国際経済機関の役割	4
		第4節　国際経済において求められる日本の役割	
		国際経済における日本の地位と国際協力	
		★中間考査	1
	6月～7月	第1節　日本国憲法と現代政治のあり方	7
		（演習問題）	
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第3節　市場経済の機能と限界	7
		第4節　持続可能な財政および租税のあり方	7
		（演習問題）	
		★中間考査	1
	10月～11月	第5節　金融を通じた経済活動の活性化	7
		第6節　経済活動と福祉の向上	2
		（演習問題）	
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	第1節　国際法の果たす役割	5
		第2節　国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	4
		（問題演習）	
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			53

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅱ										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高校数学Ⅱ（実教出版）
② ステップノート数学Ⅱ　新課程版　（実教出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	２章　図形と方程式 　４節　不等式の表す領域	6
		３章　いろいろな関数 　１節　三角関数 　　一般角・三角関数 ★中間考査	10 1
	6月～7月	三角関数の相互関係、三角関数の性質 三角関数のグラフ ２節　加法定理／弧度法 加法定理，加法定理の応用，弧度法 ３節　指数関数 指数の拡張（１） ★期末考査	30 1
第2学期	8月～9月	累乗根 指数の拡張（２），指数関数のグラフ ４節　対数関数 対数，対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数 ★中間考査	20 1
	10月～11月	４章　微分と積分 １節　微分の考え 微分係数，導関数，接線 関数の増加・減少 関数の極大・極小 関数の最大・最小 ★期末考査	20 1
第3学期	12月～1月	２節　積分の考え 不定積分 定積分・面積 いろいろな図形の面積 ★期末考査	14 1
	2月～3月		
総　時　間　数			105

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅱ										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教 科 書：高等学校　数学Ⅱ（数研出版：数Ⅱ７１０）
② 問 題 集：４プロセス　数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版）
③ 補助教材：４プロセス　数学Ⅱ　完成ノート（数研出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

数学Ⅱの「指数関数と対数関数」、「微分法と積分法」を学び、基本的な概念を理解し、数学的な解釈したり、表現する力を身に付ける。また、数学Ⅰの「数と式」、「２次関数」、「図形と計量」、数学Aの「場合の数と確率」の基礎・基本的な能力の定着を目指し、応用問題が解けるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査前と後の振り返りの記述内容を評価 ③練習問題や応用問題について解き方を記した用紙の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	問題を解く過程の表現に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	問題を解く過程の表現に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		問題を解く過程の表現にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	学習計画や振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	学習計画や振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		学習計画や振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	高１・高２の復習	
		２次関数の基本	2
		図形と計量	4
		高次方程式の基本	3
		★中間考査	1
	6月～7月	指数関数と対数関数	
		指数関数	6
		対数関数	5
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	微分法と積分法	
		微分係数と導関数	5
		関数の値の変化	5
		積分法	8
		★中間考査	1
	10月～11月	高校数学の復習	
		２次関数の応用	5
		図形と計量と三角関数	6
		場合の数と確率	7
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	高次方程式の応用	6
		図形と方程式の応用	8
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			75

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅲ										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教 科 書：高等学校　数学Ⅲ（数研出版：数Ⅲ７０９）
② 問 題 集：４プロセス　数学Ⅲ＋Ｃ（複素数平面，式と曲線）（数研出版）
③ 補助教材：４プロセス　数学Ⅲ　完成ノート（数研出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

数学Ⅱ、数学Ⅲの「微分法」「積分法」を学び、基本的な概念を理解し、数学的な解釈したり、表現する力を身に付ける。また、数学Ⅰの「数と式」、「２次関数」、「図形と計量」、数学Ａの「場合の数と確率」の基礎・基本的な能力の定着を目指し、応用問題が解けるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査前と後の振り返りの記述内容を評価 ③練習問題や応用問題について解き方を記した用紙の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	問題を解く過程の表現に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	問題を解く過程の表現に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		問題を解く過程の表現にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	学習計画や振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	学習計画や振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		学習計画や振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	数学Ⅰの復習	
		「２次関数の基本」「図形と計量」	4
		数学Ⅱ「微分法と積分法」	
		微分係数と導関数	2
		関数の値の変化	3
		積分法	3
		★中間考査	1
	6月～7月	数学Ⅲ「関数」「極限」	
		関数	4
		数列の極限	6
		関数の極限	6
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	数学Ⅲ「微分法」「微分法の応用」	
		導関数	6
		いろいろな関数の導関数	6
		導関数の応用	7
		いろいろな応用	6
		★中間考査	1
	10月～11月	数学Ⅲ「積分法とその応用」	
		不定積分	8
		定積分	9
		積分法の応用	8
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	高校数学の復習	
		２次関数の応用	4
		場合の数と確率	5
		高次方程式	4
		図形と方程式	5
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			101

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅲ										
単位数	5	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：高等学校数学Ⅲ　（数研出版）
② 問題集：４プロセス数学Ⅲ＋Ｃ（複素数平面，式と曲線）
③ 参考書：チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋Ｃ（複素数平面，式と曲線）　（数研出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。
②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。
③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	数学Ⅲ　第１章　関数 数学Ⅲ　第２章　極限 第１節　数列の極限 中間考査	18 1
	6月～7月	数学Ⅲ　第２章　極限 第２節　関数の極限 数学Ⅲ　第３章　微分法 第１節　微分係数と導関数 第２節　いろいろな関数の導関数 期末考査	22 1
第２学期	8月～9月	数学Ⅲ　第４章　微分法の応用 第１節　導関数の応用 第２節　いろいろな応用 数学Ⅲ　第５章　積分法とその応用 第１節　定積分 中間考査	31 1
	10月～11月	数学Ⅲ　第５章　積分法とその応用 第２節　定積分 第３節　積分法の応用 期末考査	33 1
第３学期	12月～1月	高校数学の復習・大学入試対策 期末考査	22 1
	2月～3月		
総　時　間　数			131

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ｃ										
単位数	３	学科	普通科	学年	３年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教 科 書：高等学校　数学Ｃ（数研出版：数Ｃ７０９）
② 補助教材：高等学校　数学Ｃ　ナビゲーションノート（数研出版）
③ 補助教材：４プロセス　数学Ｃ　完成ノート（数研出版）
④ 補助教材：攻略！共通テスト 数学Ⅰ+A，Ⅱ+B+C（東京書籍）

学　習　の　重　点　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。
②統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１章　平面上のベクトル 第１節　ベクトルとその演算 第２節　ベクトルと平面図形 ★中間考査	11 1
	６月～７月	第１章　平面上のベクトル 第２節　ベクトルと平面図形 第２章　空間のベクトル ★期末考査	13 1
第２学期	８月～９月	問題演習 第１章　数と式･２次方程式 第２章　２次関数 ★中間考査	20 1
	10月～11月	第３章　図形と計量 第４章　集合と論証 第５章　データの分析 ★期末考査	18 1
第３学期	12月～１月	第６章　場合の数と確率 第７章　図形の性質 第８章　完成問題 ★期末考査	14 1
	２月～３月		
総　時　間　数			81

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学C											
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高等学校 数学C（数研出版）
② 高等学校 数学C ナビゲーションノート（数研出版）
③ ４プロセス 数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版）
④ ４プロセス 数学Ⅲ＋Ｃ（複素数平面，式と曲線）（数研出版）

学　習　の　重　点　目　標

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小単元ごとの小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②応用的な問題についてのレポート課題の記述内容を評価 ③探究課題についてグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②スタディサプリの実施状況やナビゲーションノートの記述内容を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり，基本的な概念や原理・法則をあまり理解できていない。
思・判・表	図形の性質を統合的・発展的に考察したり，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりできる。 応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，自分の考え方を論理的に表現できている。	図形の性質を考察したり，数学的な表現を用いて事象を表現したりすることがある程度できる。 応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，ある程度自分の考えを表現できている。		図形の性質を考察したり，数学的な表現を用いて事象を表現したりすることがあまりできていない。 応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動について，あまり取り組むことができていない。
主体性・態度	数学のよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 スタディサプリやナビゲーションノートにより，予習や授業の取り組みが充実し，振り返りを活かして改善に努めている。	数学のよさを認識し，真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。 スタディサプリやナビゲーションノートの実施はできているが，その取り組みは深まっていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 スタディサプリやナビゲーションノートの実施が不十分であり，振り返るべき内容もあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１章　平面のベクトル	
		第１節　ベクトルとその演算	9
		第２節　ベクトルと平面図形	4
		★中間考査	1
	６月～７月	第１章　平面のベクトル	
		第２節　ベクトルと平面図形	5
		第２章　空間のベクトル	8
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第３章　複素数平面	15
		第４章　式と曲線	
		第１節　２次曲線	3
		★中間考査	1
	10月～11月	第４章　式と曲線	
		第１節　２次曲線	9
		第２節　媒介変数表示と極形式	10
		★期末考査	1
第３学期	12月～１月	問題演習	15
		★期末考査	1
	２月～３月		
総　時　間　数			83

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ｃ										
単位数	３	学科	普通科	学年	３年	該当するコース・科 →					●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教 科 書：高等学校　数学Ｃ　（数研出版）
② 参考書：チャート式　数学Ⅱ、Ｂ＋Ｃ　（数研出版）
③ 参考書：共通テスト対策　基礎徹底演習　数学　（進研学参）
④ 参考書：共通テスト対策　重要問題演習　数学　（進研学参）

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査前と後の振り返りの記述内容を評価 ③練習問題や応用問題について解き方を記した用紙の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	問題を解く過程の表現に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	問題を解く過程の表現に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		問題を解く過程の表現にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 学習計画や振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 学習計画や振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 学習計画や振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の基本問題	
		「図形と方程式」	2
		「三角関数」	2
		「指数関数と対数関数」	1
		「微分法・積分法」	2
		「数列」「ベクトル」	2
		★中間考査	1
	６月～７月	数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の標準問題	
		「複素数と方程式」「図形と方程式」	2
		「三角関数」「指数関数と対数関数」	2
		「微分法・積分法」	2
		「統計的な推測」	3
		「数列」「ベクトル」	2
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の考える問題	
		「図形と方程式」	4
		「三角関数」	3
		「微分法・積分法」	4
		「統計的な推測」	5
		「ベクトル」	2
		★中間考査	1
	１０月～１１月	数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の共通テスト対策	19
		★期末考査	1
第３学期	１２月～１月	大学入学共通テスト数学Ⅱ・Ｂ・Ｃの直前演習	10
		高校数学Ⅱ・Ｂ・Ｃの復習	3
		★期末考査	1
	２月～３月		
総　時　間　数			75

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ｃ										
単位数	３	学科	普通科	学年	３年	該当するコース・科 →						●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教 科 書：高等学校　数学Ｃ　（数研出版）
② 副教材：４プロセス　数学Ⅱ、Ｂ＋Ｃ　（数研出版）
③ 参考書：共通テスト対策　数学　（進研学参）
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査前と後の振り返りの記述内容を評価 ③練習問題や応用問題について解き方を記した用紙の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	問題を解く過程の表現に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	問題を解く過程の表現に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		問題を解く過程の表現にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	学習計画や振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	学習計画や振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		学習計画や振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	数学Ｃ「複素数平面」	
		複素数平面	1
		極形式	1
		ド・モアブルの定理	2
		複素数と図形	3
		大学入学共通テスト形式の問題演習	2
		★中間考査	1
	６月～７月	数学Ｃ「式と曲線」	
		放物線・楕円・双曲線	3
		２次曲線の平行移動	1
		２次曲線と直線	2
		２次曲線の性質	2
		大学入学共通テスト形式の問題演習	3
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	数学Ⅰ・Ａ の標準問題	5
		数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の標準問題	7
		大学入学共通テスト形式の問題演習	6
		★中間考査	1
	１０月～１１月	数学Ⅰ・Ａ の考える問題	5
		数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ の考える問題	7
		大学入学共通テスト形式の問題演習	7
		★期末考査	1
第３学期	１２月～１月	大学入学共通テスト数学Ⅰ・Ａの直前演習	2
		大学入学共通テスト数学Ⅱ・Ｂ・Ｃの直前演習	3
		高校数学の復習	8
		★期末考査	1
	２月～３月		
総　時　間　数			75

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学探究										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 完全攻略　高校生の基礎数学トレーニング（実教出版）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 テキストで学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	1　数の計算	2
		2　比率と割合・比例と反比例	2
		3　文字式・整式の計算	2
		4　乗法公式による展開と因数分解	2
		問題演習	3
		★中間考査	1
	6月～7月	5　無理数の計算	2
		6　１次方程式	2
		7　２次方程式	2
		8　不等式	2
		問題演習	3
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	9　１次関数とグラフ	2
		10　２次関数とグラフ	2
		11　図形と角・合同な図形・平行線と線分の比	2
		12　図形の面積	2
		13　三角比	2
		問題演習	3
		★中間考査	1
	10月～11月	14　集合と要素・命題と証明	2
		15　場合の数と確率	2
		16　表の読み取り・資料の整理	2
		17　様々な問題①（距離，速さ，時間の関係，濃度算）	2
		問題演習	3
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	18　様々な問題②（不等式と領域・数列・対数）	2
		到達度確認テスト１	2
		到達度確認テスト２	2
		問題演習	3
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			60

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学探究											
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●		

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 共通テスト対策　実力養成　重要問題演習（進研学参）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。
②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。
③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について１０分間程度の小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	大学入学共通テスト形式の演習（数学Ⅰ） ・数と式 ・２次関数 ・図形と計量 中間考査	13 1
	６月～７月	大学入学共通テスト形式の演習（数学Ⅰ・Ａ） ・データの分析 ・場合の数と確率 ・図形の性質 期末考査	14 1
第２学期	８月～９月	大学入学共通テスト形式の演習（数学Ⅰ） ・数と式 ・２次関数 ・図形と計量 中間考査	19 1
	１０月～１１月	大学入学共通テスト形式の演習（数学Ⅰ・Ａ） ・データの分析 ・場合の数と確率 ・図形の性質 期末考査	20 1
第３学期	１２月～１月	共通テスト直前演習 期末考査	12 1
	２月～３月		
総　時　間　数			83

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	化学基礎											
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：実教出版　高校化学基礎visual　007-903
② ノート：実教出版　高校化学基礎visual　エブリィノート　授業のまとめ　007-903
③ 問題集：実況出版　高校化学基礎　カラーノート　改訂版
④

学　習　の　重　点　目　標

① 主体的に自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
② 主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。	①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。	①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1章　物質の構成 1節　物質の探究 1　純物質と混合物 2　混合物の分離①　3　混合物の分離② 4　単体と元素 5　元素の確認 ★　中間考査	10 1
	6月～7月	6　状態変化と熱運動 2節　物質の構成粒子 1　原子　2　電子配置とイオン　3　周期表 2章　物質と化学結合 1節　イオン結合 1　イオン結合　2　イオン結晶 ★　期末考査	12 1
第2学期	8月～9月	2節　共有結合 1　分子と共有結合　2　分子の電子式と構造式 3　分子の極性　4　分子間力と分子結晶 5　高分子化合物と分子の利用　6　共有結合の結晶 3節　金属結合 1　金属結合と金属　2　金属の利用 ★　中間考査	20 1
	10月～11月	3章　物質の変化 1節　物質量と化学反応式 1　原子量・分子量・式量　2　物質量 3　濃度　4　化学変化と化学反応式 5　化学反応式と量的関係①　6　化学反応式と量的関係② 特集　化学史 ★　期末考査	20 1
第3学期	12月～1月	3節　酸化還元反応 1　酸化と還元　2　酸化数と酸化剤・還元剤 3　酸化剤と還元剤の反応 4　酸化還元反応の量的関係 5　金属のイオン化傾向　6　電池　特集　実用電池 7　酸化還元反応と金属の製錬 ★　期末考査	16 1
	2月～3月		
総　時　間　数			83

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	化学										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：化学704「化学」（実教出版）
② 副教材：アクセスノート化学（実教出版），大学入学共通テスト対策チェック＆演習化学
③
④

学　習　の　重　点　目　標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。⑴化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。⑵観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。⑶化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1章　物質の状態と平衡	
		4節　溶液	3
		2章　物質の変化と平衡	
		1節　化学変化と熱・光エネルギー	6
		2節　電池と電気分解	4
	6月～7月	3節　反応の速さとしくみ	7
		4節　化学平衡	7
		3章　無機物質	
		1節　元素と周期表	1
		2節　非金属元素	1
		3節　金属元素	1
第2学期	8月～9月	4章　有機化合物	
		1節　有機化合物の特徴と分類	6
		2節　脂肪族炭化水素	6
		3節　酸素を含む脂肪族化合物	7
		4節　芳香族化合物	7
	10月～11月	5章　高分子化合物	
		1節　高分子化合物	1
		2節　天然高分子化合物	12
		3節　合成高分子化合物	13
第3学期	12月～1月	受験対策	21
	2月～3月		
総　時　間　数			103

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	化学											
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →							●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：化学703「化学academia」（実教出版）
② 副教材：エクセル化学総合版（実教出版），大学入学共通テスト対策チェック＆演習化学
③
④

学　習　の　重　点　目　標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。⑴化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。⑵観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。⑶化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	3章　無機物質	
		3節　典型金属元素	6
		4節　遷移金属元素	9
	6月～7月	4章　有機化合物	
		1節　有機化合物とその構造	5
		2節　脂肪族炭化水素	6
		3節　酸素を含む脂肪族化合物	6
		4節　芳香族化合物	8
		5章　高分子化合物	
		1節　高分子化合物	2
第2学期	8月～9月	2節　天然高分子化合物	12
	10月～11月	3節　合成高分子化合物	20
		終章　化学とその役割	4
第3学期	12月～1月	受験対策	20
	2月～3月		
総　時　間　数			98

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	生物										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高校生物(実教出版)
② 生物エブリィノート（実教出版）
③ アクセスノート生物（実教出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストほ合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。 発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。 発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 発展的な内容を学習することができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み，グループ活動においても積極的に発言できている。 振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。 振り返るべき内容をあまり考えられていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1章1節　生物の起源と細胞の進化	4
		1章2節　遺伝子の変化と進化のしくみ	3
		1章3節　生物の系統と進化	3
		2章1節　細胞と分子	3
		【中間考査】	1
	6月～7月	2章2節　生命現象とタンパク質	7
		2章3節　代謝	10
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	3章1節　遺伝情報とその発現	8
		3章2節　発生と遺伝子発現	8
		3章3節　遺伝子を扱う技術	8
		【中間考査】	1
	10月～11月	4章1節　動物の反応	8
		4章2節　動物の行動	9
		4章3節　植物の成長と環境応答	9
		【期末考査】	
第3学期	12月～1月	5章1節　個体群と生物群集	7
		5章2節　生態系	7
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総　時　間　数			101

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	生物										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●		●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 生物・ニューグローバル生物・（東京書籍）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストほ合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。 発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。 発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 発展的な内容を学習することができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み，グループ活動においても積極的に発言できている。 振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。 振り返るべき内容をあまり考えられていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	2編1章　細胞と物質　4～7節	3
		2編2章　代謝とエネルギー　1～4節	5
		3編1章　遺伝情報とその発現　1～2節	5
		【中間考査】	1
	6月～7月	3編1章　遺伝情報とその発現　3～6節	4
		3編2章　発生と遺伝子発現　1～4節	5
		3編2章　発生と遺伝子発現　5～7節	5
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	3編3章　遺伝子を扱う技術　1～4節	6
		4編1章　動物の刺激の受容と反応　1～2節	7
		4編2章　動物の行動　1～3節	8
		【中間考査】	1
	10月～11月	4編3章　植物の環境応答　1～4節	6
		4編3章　植物の環境応答　5～9節	7
		5編1章　個体群と生物群集　1～4節	8
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	5編1章　個体群と生物群集　5～6節	5
		5編2章　生態系の物質生産と物質循環　1～2節	5
		5編3章　生態系と人間生活　1～4節	6
		【期末考査】	1
	2月～3月		
総　時　間　数			90

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	理科探究										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 数研出版　大学入学共通テストチェック＆演習　化学基礎
② 数研出版　大学入学共通テストチェック＆演習　生物基礎
③
④

学　習　の　重　点　目　標

大学入学共通テストに対処できるような力を身につける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。	①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。	①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	チェック＆演習化学基礎 第１編　物質の構成と化学結合 第１章　物質の構成　/　第２章　物質の構成粒子 チェック＆演習生物基礎 第１編　生物の特徴 第１章　生物の特徴 ★中間考査	8
	6月～7月	チェック＆演習生物基礎 第１編　生物の特徴 第２章　遺伝子とそのはたらき 第２編　ヒトの体内環境の維持 第３章　神経系と内分泌経による調節　/　第４章　免疫のはたらき ★期末考査	9 1
第2学期	8月～9月	チェック＆演習化学基礎 第１編　物質の構成と化学結合 第３章　粒子の結合 第２編　物質の変化 第４章　物質量と化学反応式　/　第５章　酸と塩基　/　第６章　酸化と還元 ★中間考査	14 1
	10月～11月	チェック＆演習生物基礎 第３編　生物の多様性と生態系 第５章　植物の多様性と分布　/　第６章　生態系とその保全 チェック＆演習化学基礎 第２編　物質の変化 第７章　日常生活に関連した化学　/　第８章　化学基礎の実験 ★期末考査	14 1
第3学期	12月～1月	問題演習 ★期末考査	11 1
	2月～3月		
総　時　間　数			60

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	理科探究										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 数研出版　大学入学共通テストチェック＆演習　化学基礎
② 数研出版　大学入学共通テストチェック＆演習　生物基礎
③
④

学　習　の　重　点　目　標

大学入学共通テストに対処できるような力を身につける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。	①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。	①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	チェック＆演習化学基礎 第１編　物質の構成と化学結合 第１章　物質の構成　/　第２章　物質の構成粒子 チェック＆演習生物基礎 第１編　生物の特徴 第１章　生物の特徴 ★中間考査	11 1
	6月～7月	チェック＆演習生物基礎 第１編　生物の特徴 第２章　遺伝子とそのはたらき 第２編　ヒトの体内環境の維持 第３章　神経系と内分泌経による調節　/　第４章　免疫のはたらき ★期末考査	13 1
第2学期	8月～9月	チェック＆演習化学基礎 第１編　物質の構成と化学結合 第３章　粒子の結合 第２編　物質の変化 第４章　物質量と化学反応式　/　第５章　酸と塩基　/　第６章　酸化と還元 ★中間考査	18 1
	10月～11月	チェック＆演習生物基礎 第３編　生物の多様性と生態系 第５章　植物の多様性と分布　/　第６章　生態系とその保全 チェック＆演習化学基礎 第２編　物質の変化 第７章　日常生活に関連した化学　/　第８章　化学基礎の実験 ★期末考査	18 1
第3学期	12月～1月	問題演習 ★期末考査	13 1
	2月～3月		
総　時　間　数			78

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションⅡ										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① VISTA English Communication Ⅱ（三省堂）
② VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK（三省堂）
③ 英単語ターゲット１２００
④ 英単語ターゲット１２００　WORKBOOK③

学　習　の　重　点　目　標

音読を通して、英文を読む力を養う。表現力（話す、書く）を養う。日本や英語圏の文化、歴史に興味、関心を持つことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	課題や提出物の出来具合により評価する。	日常の学習態度、ペアワークでの積極的な活動などを評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。
	音読やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	音読やペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		音読やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	課題や提出物にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。	課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		課題や提出物にあまり取り組むことができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 6　Smart Agriculture	9
		中間考査	1
	6月～7月	Lesson 7　A Martial Art on Tatami	14
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	Lesson 8　Biologging	15
		中間考査	1
	10月～11月	Enjoy Reading　1　The Open Window	15
		中間考査	1
第3学期	12月～1月	Enjoy Reading　2　The Christmas Truce	12
		期末考査	1
	2月～3月		
総時間数			70

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションⅢ										
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●	●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① LANDMARK Fit English Communication Ⅲ （啓林館）
② LANDMARK Fit English Communication Ⅲ WORKBOOK（啓林館）
③ LISTENING TRIAL Stage 2.0
④ 英単語ターゲット1400［5訂版］

学　習　の　重　点　目　標

基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、学んだ事項を応用しながら、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。 授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。	提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。	提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。	定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。	定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。
思・判・表	グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。	課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。		課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。
	課題の内容から、学んだ事項が身についていると見受けられたとき。			
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。	提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると見受けられるとき。		提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。
	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。	授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。		ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Introduction	1
		Lesson 1 Incredible Edible	8
		共通テスト演習	2
		★中間考査	1
	6月～7月	Lesson 4 Political Correctness	10
		共通テスト演習	6
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	Lesson 5 Saving Our Treasures from the Sea	10
		Lesson 6 Body Imperfect	10
		共通テスト演習	6
		★中間考査	1
	10月～11月	Lesson 8 Global Water Crisis	10
		Lesson 9 Extinction of Languages	10
		共通テスト演習	5
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	Lesssonl0 Jose Mujica: The World's Poorest Presider	10
		共通テスト演習	11
		★期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			104

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションⅢ											
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：LANDMARK English Communication Ⅲ（啓林館）
② 問題集：LANDMARK English Communication Ⅲ ワークブック（啓林館）
③ 副教材：改訂版 必携 英単語帳 LEAP（数研出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の５つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事を目標とする。また、言語活動やそれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。
（１）聞くこと（２）読むこと（３）話すこと［やり取り］（４）話すこと［発表］（５）書くこと

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の得点 （教科書および副教材、単語帳の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （単語帳の内容に関して毎週小テストを実施）	①グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する活動を定期的に実施） ②レポート・プレゼンの内容 （単元ごとに課題を実施）	①授業中の態度・意欲 ②ペア・グループ活動の態度・意欲 ③提出物の状況（問題集）

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期テストと小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期テストと小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。	探究的な課題やグループ・ペア活動に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。		探究的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。		コミュニケーションを取ることができていない。
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	◎Introduction ◎LESSON３：Saving Our Treasures from the Sea ☆中間考査	15 1
	６月～７月	☆LESSON３：Saving Our Treasures from the Sea ☆LESSON７：Where Did Dogs Come from? ☆期末考査	17 1
第２学期	８月～９月	◎受験対策 ☆中間考査	25 1
	10月～11月	◎受験対策 ☆期末考査	24 1
第３学期	12月～１月	◎受験対策 ☆期末考査	18 1
	２月～３月		
総　時　間　数			104

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	論理・表現Ⅱ										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ（数研出版株式会社）
② BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ　ワークブック（数研出版株式会社）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	課題や提出物の出来具合により評価する。	日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。
	探究的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。	探究的な課題やグループ・ペア活動に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。		探究的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。		コミュニケーションを取ることができていない。
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 1 School Festival Lesson 2 A Trip to Sapporo Lesson 3 My Dear Friend ★中間考査	8 1
	6月～7月	Lesson 4 A Dog in a Barbershop Lesson 5 Japanese Food Lesson 6 Volunteer Activities ★期末考査	15 1
第2学期	8月～9月	Lesson 7 A Stage Actor Lesson 8 I Like Singing Lesson 9 Cycling ★中間考査	19 1
	10月～11月	Lesson 10 My New Hiking Boots Lesson 11 The Yangtze River Lesson 12 My sisiter's Job Lesson 13 In Kansas City ★期末考査	19 1
第3学期	12月～1月	Lesson 14 Dreaming of Space Lesson 15 An Android Like You Lesson 16 I Left My Smartphone ★期末考査	17 1
	2月～3月		
総　時　間　数			83

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	論理・表現Ⅲ										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●	●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ（啓林館）
② Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート（啓林館）
③ 副教材：Vision Quest 総合英語 3rd Edition
④ 副教材：SCRAMBLE Basic 英文法・語法 3rd Edition

学　習　の　重　点　目　標

「論理・表現Ⅰ・Ⅱ」の学習内容を踏まえ，「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに，論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり，伝え合ったりすることができる能力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	ペアワークでの積極的な活動、小テストや英作文の仕上がりなどを評価する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物により評価を行う。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	ペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。
	英作文や応用的な問題にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。	英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 1	4
		Lesson 2	4
		中間考査	1
	6月～7月	Lesson 3	4
		Lesson 4	4
		Lesson 5	4
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	Lesson 6	4
		Lesson 7	4
		Lesson 8	4
		中間考査	1
	10月～11月	Lesson 9	4
		Lesson 10	4
		Lesson 11	5
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	Lesson 12	5
		Lesson 13	5
		期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			60

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	論理・表現Ⅲ										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ（啓林館）
② Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート（啓林館）
③ Scramble 4th edition 英文法・語法（旺文社）
④

学　習　の　重　点　目　標

「論理・表現Ⅰ・Ⅱ」の学習内容を踏まえ，「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに，論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり，伝え合ったりすることができる能力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	ペアワークでの積極的な活動、小テストや英作文の仕上がりなどを評価する。	日常の学習態度、出席状況、課題や取り組みと提出物により評価を行う。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	ペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。
	英作文や応用的な問題にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。	英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 1	4
		Lesson 2	4
		中間考査	1
	6月～7月	Lesson 3	4
		Lesson 4	4
		Lesson 5	3
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	Lesson 6	4
		Lesson 7	4
		Lesson 8	4
		共通テスト演習	7
		中間考査	1
	10月～11月	Lesson 9	4
		Lesson 10	4
		Lesson 11	5
		共通テスト演習	7
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	Lesson 12	4
		Lesson 13	4
		共通テスト演習	9
		期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			80

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】		科目名	実践英語Ⅱ									
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① LISTENING TRIAL Stage2.5
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
また、実用英語検定試験等を受検し、上級の合格を目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として期末考査のみを実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	英会話やペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。
	英作文や応用的な問題にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。	英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	トピック　自己紹介 トピック　GWの思い出 Listening Trial①～④	7
	6月～7月	トピック　人物の紹介 Listening Trial⑤～⑧	11
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	トピック　夏休みの思い出 Listening Trial⑨～⑫	12
	10月～11月	トピック　日本文化の紹介 トピック　大切にしているもの Listening Trial⑬～⑯	14
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	トピック　自分を支えてくれた人 Listening Trial⑰～⑳	10
		期末考査	1
	2月～3月		
総　時　間　数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育（男子）										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育（大修館書店）
② Active Sports2024［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。　公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 ３学期のみ実技テストと定期考
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	10
	6月～7月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	15
第２学期	8月～9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	21
	10月～11月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・ゲーム） ○実技試験	21
第３学期	12月～1月	体育理論 ●期末考査	12 1
	2月～3月		1
総　時　間　数			81

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育（男子）										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●	●	●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育（大修館書店）
② Active Sports2024［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。　公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② サッカー （パス・ドリブル・シュート） ○実技試験	9
	6月～7月	サッカー （対人・ゲーム） ○実技試験	16
第２学期	8月～9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	16
	10月～11月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	20
第３学期	12月～1月	体育理論 ●期末考査	14 1
	2月～3月		
総　時　間　数			76

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育（女子）										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育（大修館書店）
② Active Sports2024［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。　公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	10
	6月～7月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	15
第２学期	8月～9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	21
	10月～11月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・ゲーム） ○実技試験	21
第３学期	12月～1月	体育理論 ●期末考査	12 1
	2月～3月		1
総　時　間　数			81

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育（女子）										
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●	●	●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育（大修館書店）
② Active Sports2024［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。　公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 ３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	13
	6月～7月	サッカー （対人・ゲーム） ○実技試験	14
第2学期	8月～9月	スポーツテスト① バスケット （対人・ゲーム） ○実技試験	19
	10月～11月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	19
第3学期	12月～1月	体育理論 ●期末考査	16 1
	2月～3月		
総　時　間　数			82

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	情報	科目名	情報探究Ⅱ										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 全商ビジネス文書実務検定テキスト１・２・３級　（実教出版）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

1.パソコンを利用して、文書作成や情報処理の知識と技能の修得を目指す。
2.ビジネス文書検定１～３級のスキルを身につけ、合格する。
3．Google、Windows、Macを使いこなす。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	１．単元ごとに実技テストを実施	１．単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る ２．授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る	１．授業中の様子 ２．提出物の提出率とその内容 ３．実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	単元ごとの実技テストを１００点満点に換算した合計得点が８０点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。	実技テストの合計得点が５５～７９点である。	実技テストの合計得点が３０～５４点である。	実技テストの合計得点が３０点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	全商ビジネス文書実務検定　模擬試験問題集１･2･3級 実技問題１～１０	8
	6月～7月	全商ビジネス文書実務検定　模擬試験問題集１･2･3級 実技問題１０～２０	10
		全商ビジネス文書実務検定　受験	
		Googleスライドを使用してのプレゼンテーション	6
第２学期	8月～9月	Googleスライドを使用してのプレゼンテーション	9
	10月～11月	iPadを使用して動画作成	5
		Googleフォームを使用したアンケート作成と結果報告	5
第３学期	12月～1月	グーグルサイトを使用したHP作成	8
	2月～3月		
総　時　間　数			51

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	情報	科目名	情報探究Ⅲ										
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① なし
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

1.プレゼンテーションを行い、コミュニケーションスキルをあげる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	1．プレゼンで作成しPowerPointやGoogleスライドを評価する。	1．プレゼンでの話し方などを評価する	1．授業中の様子 2．提出物の提出率とその内容 3．振り返り用紙の内容

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	PowerPointやGoogleスライドの基本から応用まで知識と技能が習得できている。	PowerPointやGoogleスライドの基本がしっかりと習得できている。	PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できている。	PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できていない。
思・判・表	探究的な課題や活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができている。	探究的な課題や活動に取り組み、ある程度自分の考えを表現することができている。		探究的な課題や活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、活動においても積極的に作業に取り組んでいる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	色を絡めた自己紹介 　好きな色をエピソード付きで話をして自己紹介をする	6
		都道府県の紹介 　ランダムに指定した都道府県を紹介する	6
	6月～7月	世界各国の紹介 　自分の行ってみたい国を調べて紹介する	6
		商品の営業（飲料水、お菓子、家電など） 　自分の使用したことがある製品のいいところを宣伝する	6
第2学期	8月～9月	入試・入社試験に向けての自己紹介 　マインドマップを使い自分のことを詳しく紹介する。	10
	10月～11月	面接・AO入試対策 　各自の課題に応じて対策を行う。	13
第3学期	12月～1月	動画の作成、写真の加工 グーグルフォームの作成など	8
	2月～3月		
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	進学探究セミナー										
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① ゼロから始める探究活動　探究メソッドZERO（啓林館）
② 小論文チャレンジノート（第一学習社）
③ 進学ガイダンス＋国数英（実務教育出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

2年間の探究の集大成として成果をまとめ、後輩へ学びを還元する最終発表を行う。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を堂々とした発表姿勢で後輩たちに示す。 また、探究で養った視点を活かし、志望理由書や面接等の進路実現に向けた活動に主体的に取り組み、自己の将来像と社会との関わりを明確に表現する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	2年間の探究成果を、1・2年生にも伝わるように論理的に構成し、発表資料を作成することができる。３年間の集大成として、資料作成・プレゼンテーション技能を発揮することができる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、説得力のある最終発表を行っている。また、自己分析や社会課題への視点を活かし、志望理由書や小論文作成に必要な記述技能、面接での応答力を、自身の将来像と結びつけて的確に習得している。
思考・判断・表現	収集したデータの最終分析に基づき、客観的な根拠を伴う独自の結論を導き出している。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、後輩へ学びを還元する表現を工夫している。また、探究での経験を「自身の強み」や「大学での学び」へと論理的に接続し、小論文や面接において、自分の考えを明確かつ説得力を持って発信することができる。
主体性・態度	最終発表に向け、最高学年として責任を持ち、後輩の模範となる態度で粘り強く準備に取り組んでいる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を発表という形で表現することができる。また、探究で得た知見を糧に、自らの進路実現に向けて主体的に情報を収集し、目標を明確にして学習している。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・ガイダンス	1
		・ポスター作成、まとめ	3
	6月～7月	・発表練習	2
		・最終発表	3
		・振り返り	1
		・進路合同ガイダンス	2
		・志望理由書、小論文対策	2
第2学期	8月～9月	・志望理由書、小論文対策	4
	10月～11月	・講演会等出前授業	16
		・講演振り返り	
		・合格体験記記入	3
第3学期	12月～1月	・３年生と語る会発表準備	3
		・３年生と語る会	1
	2月～3月		
総　時　間　数			41

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	就職探究セミナー										
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① ゼロから始める探究活動　探究メソッドZERO（啓林館）
② ガイダンス＋SPI・一般常識（実務教育出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

2年間の探究の集大成として成果をまとめ、後輩へ学びを還元する最終発表を行う。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を堂々とした発表姿勢で後輩たちに示す。 また、探究で養った視点を活かし、志望理由書や面接等の進路実現に向けた活動に主体的に取り組み、自己の将来像と社会との関わりを明確に表現する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	2年間の探究成果を、1・2年生にも伝わるように論理的に構成し、発表資料を作成することができる。３年間の集大成として、資料作成・プレゼンテーション技能を発揮することができる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、説得力のある最終発表を行っている。また、自己分析や社会課題への視点を活かし、履歴書作成や作文試験に必要な記述技能、面接での応答力を、自身の将来像と結びつけて的確に習得している。
思考・判断・表現	収集したデータの最終分析に基づき、客観的な根拠を伴う独自の結論を導き出している。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、後輩へ学びを還元する表現を工夫している。また、探究での経験を「自身の強み」へと論理的に接続し、記述試験や面接において、自分の考えを明確かつ説得力を持って発信することができる。
主体性・態度	最終発表に向け、最高学年として責任を持ち、後輩の模範となる態度で粘り強く準備に取り組んでいる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を発表という形で表現することができる。また、探究で得た知見を糧に、自らの進路実現に向けて主体的に情報を収集し、目標を明確にして学習している。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・ガイダンス	1
		・ポスター作成、まとめ	3
	6月～7月	・発表練習	2
		・最終発表	3
		・振り返り	1
		・進路合同ガイダンス	2
		・履歴書作成準備	2
第2学期	8月～9月	・履歴書作成、面接練習	4
	10月～11月	・講演会等出前授業	16
		・合格体験記記入	3
第3学期	12月～1月	・３年生と語る会発表準備	3
		・３年生と語る会	1
		・着こなし教室	1
	2月～3月		
総　時　間　数			42

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間										
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●	●			

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 課題研究メソッド（啓林館）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

2年間の探究の集大成として成果をまとめ、後輩へ学びを還元する最終発表を行う。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を堂々とした発表姿勢で後輩たちに示す。 また、探究で養った視点を活かし、志望理由書や面接等の進路実現に向けた活動に主体的に取り組み、自己の将来像と社会との関わりを明確に表現する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	2年間の探究成果を、1・2年生にも伝わるように論理的に構成し、発表資料を作成することができる。３年間の集大成として、資料作成・プレゼンテーション技能を発揮することができる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、説得力のある最終発表を行っている。また、自己分析や社会課題への視点を活かし、志望理由書や小論文作成に必要な記述技能、面接での応答力を、自身の将来像と結びつけて的確に習得している。
思考・判断・表現	収集したデータの最終分析に基づき、客観的な根拠を伴う独自の結論を導き出している。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、後輩へ学びを還元する表現を工夫している。また、探究での経験を「自身の強み」や「大学での学び」へと論理的に接続し、小論文や面接において、自分の考えを明確かつ説得力を持って発信することができる。
主体性・態度	最終発表に向け、最高学年として責任を持ち、後輩の模範となる態度で粘り強く準備に取り組んでいる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を発表という形で表現することができる。また、探究で得た知見を糧に、自らの進路実現に向けて主体的に情報を収集し、目標を明確にして学習している。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・ガイダンス	1
		・ポスター作成、まとめ	3
	6月～7月	・発表練習	2
		・最終発表	3
		・振り返り	1
		・進路合同ガイダンス	2
		・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	2
第2学期	8月～9月	・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	4
	10月～11月	・講演会等出前授業	16
		・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	3
第3学期	12月～1月	・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	2
		・合格体験記記入	2
		・着こなし教室	1
	2月～3月		
総　時　間　数			42

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間										
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●	●	

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 課題研究メソッド（啓林館）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

2年間の探究の集大成として成果をまとめ、後輩へ学びを還元する最終発表を行う。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を堂々とした発表姿勢で後輩たちに示す。 また、探究で養った視点を活かし、志望理由書や面接等の進路実現に向けた活動に主体的に取り組み、自己の将来像と社会との関わりを明確に表現する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	2年間の探究成果を、1・2年生にも伝わるように論理的に構成し、発表資料を作成することができる。３年間の集大成として、資料作成・プレゼンテーション技能を発揮することができる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、説得力のある最終発表を行っている。また、自己分析や社会課題への視点を活かし、志望理由書や小論文作成に必要な記述技能、面接での応答力を、自身の将来像と結びつけて的確に習得している。
思考・判断・表現	収集したデータの最終分析に基づき、客観的な根拠を伴う独自の結論を導き出している。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、後輩へ学びを還元する表現を工夫している。また、探究での経験を「自身の強み」や「大学での学び」へと論理的に接続し、小論文や面接において、自分の考えを明確かつ説得力を持って発信することができる。
主体性・態度	最終発表に向け、最高学年として責任を持ち、後輩の模範となる態度で粘り強く準備に取り組んでいる。探究の過程で自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自らの成長を発表という形で表現することができる。また、探究で得た知見を糧に、自らの進路実現に向けて主体的に情報を収集し、目標を明確にして学習している。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・ガイダンス	1
		・ポスター作成、まとめ	3
	6月～7月	・発表練習	2
		・最終発表	3
		・振り返り	1
		・進路合同ガイダンス	2
		・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	2
第2学期	8月～9月	・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	4
	10月～11月	・講演会等出前授業	16
		・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	3
第3学期	12月～1月	・志望理由書、小論文対策（スタディサプリ他）	2
		・合格体験記記入	2
		・着こなし教室	1
	2月～3月		
総　時　間　数			42